



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社キャリア 上場取引所 東
 コード番号 6198 URL <https://www.careergift.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 川嶋 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 蒲原 翔太 (TEL) 03-6453-2717
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	13,667	14.0	428	8.3	429	7.4	254	18.2
2022年9月期第3四半期	11,989	27.1	395	749.9	399	745.8	215	—

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 266百万円(7.8%) 2022年9月期第3四半期 247百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	29.98	29.98
2022年9月期第3四半期	25.36	25.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	5,028	1,904	34.9
2022年9月期	4,925	1,644	30.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 1,755百万円 2022年9月期 1,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	10.2	460	29.1	460	25.7	270	38.0	31.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の修正については、2023年8月10日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期3Q	8,624,320株	2022年9月期	8,624,320株
2023年9月期3Q	118,600株	2022年9月期	118,600株
2023年9月期3Q	8,505,720株	2022年9月期3Q	8,505,720株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(収益認識関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和等に伴い、社会経済活動の正常化が進展して回復の兆しが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、インフレ警戒から世界的な金融引き締め等による景気後退懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

人材サービス業界を取り巻く環境におきましては、厚生労働省が発表した2023年6月の有効求人倍率が1.30倍と低水準の状態に加え、総務省統計局が発表した2023年6月の完全失業率の指数は2.5%と低水準に留まる等、人材需要は回復しつつもその推移は緩やかな基調となっております。当社グループの運営する「高齢化社会型人材サービス」の環境は、内閣府の2023年版高齢社会白書によりますと、当社グループで定義しておりますアクティブシニア(55歳以上の働く意欲のある人)の労働力人口は、2022年度の推計で2,162万人(前年対比1.3%増)、総労働力人口の31.3%を占めております。アクティブシニアの労働力人口は年々増加傾向にあり、当社グループの事業領域も拡大していくことが見込まれます。

このような経営環境の中、当社はオーガニック成長を追求するとともに収益基盤のさらなる強化を継続的に進めております。当第3四半期累計期間の事業活動では、特にワクチン需要後を見据えた戦略的な案件受注による派遣粗利率の改善、事業運営の効率化に取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は13,667,305千円(前年同四半期比14.0%増)、営業利益は428,919千円(同8.3%増)、経常利益は429,364千円(同7.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は254,969千円(同18.2%増)となりました。

なお、当社グループは、「高齢化社会型人材サービス」の単一セグメントであります。事業別の業績を示すと以下のとおりであります。

① シニアワーク事業

シニアワーク事業は、主にコールセンター、公共機関における事務作業を行うホワイトカラー職種とビルメンテナンス、ベッドメイキング、ロジスティックスなどの身体的な作業を行うブルーカラー職種との2つの分野においてアクティブシニアの人材派遣、人材紹介及び業務請負を行っております。第3四半期連結累計期間では、請負及びBPO案件の受注に特に注力しつつ、シニアワーク事業内における販売費及び一般管理費を圧縮し、利益率の改善に努めました。引き続き取扱い職種の開拓及び新たな働き方の提案が課題であると認識しており、シニア活用コンサルタントの採用育成の強化を図っております。

この結果、シニアワーク事業の売上高は3,837,184千円(前年同四半期比22.5%増)となりました。

② シニアケア事業

シニアケア事業は、主に介護施設に対して、看護師や介護士等の有資格者の人材派遣、人材紹介及び紹介予定派遣を行っております。第3四半期連結累計期間では、前期に引き続き新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の看護師派遣が貢献した一方で、既存支店を中心にワクチン特需後も堅調な需要を取り込みつつ、派遣粗利率の改善を同時に進めてまいりました。また、自社求人サイト内のコンテンツを拡充させ、既存支店においては、登録スタッフ増加のための広告宣伝の強化、従業員採用の強化を図っております。

この結果、シニアケア事業の売上高は9,830,120千円(前年同四半期比11.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、売掛金などが減少したものの、現金及び預金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して103,084千円増加し、5,028,715千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、未払法人税等、未払消費税等が増加したものの、賞与引当金、その他などが減少したことにより、前連結会計年度末と比較して156,191千円減少し、3,124,690千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末と比較して259,276千円増加し、1,904,025千円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.5%から34.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月15日に公表した通期連結業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、2023年8月10日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228,724	2,618,341
売掛金	1,919,292	1,627,544
その他	118,563	156,314
貸倒引当金	△4,296	△2,010
流動資産合計	4,262,284	4,400,190
固定資産		
有形固定資産	319,829	292,581
無形固定資産	57,851	49,662
投資その他の資産	285,665	286,280
固定資産合計	663,346	628,525
資産合計	4,925,630	5,028,715
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,210,335	1,201,800
未払費用	1,137,164	1,135,719
未払法人税等	62,167	89,947
未払消費税等	367,057	391,740
賞与引当金	58,335	-
返金負債	189	56
その他	313,441	172,872
流動負債合計	3,148,691	2,992,136
固定負債		
資産除去債務	132,190	132,553
固定負債合計	132,190	132,553
負債合計	3,280,881	3,124,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	157,590	157,590
資本剰余金	137,590	137,590
利益剰余金	1,357,266	1,612,236
自己株式	△152,306	△152,306
株主資本合計	1,500,140	1,755,110
新株予約権	49,785	42,818
非支配株主持分	94,823	106,095
純資産合計	1,644,749	1,904,025
負債純資産合計	4,925,630	5,028,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	11,989,947	13,667,305
売上原価	9,287,394	10,702,307
売上総利益	2,702,552	2,964,997
販売費及び一般管理費	2,306,652	2,536,077
営業利益	395,900	428,919
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	0	0
助成金収入	5,581	17,501
持分法による投資利益	1,823	-
その他	673	1,487
営業外収益合計	8,084	18,999
営業外費用		
支払利息	4,245	4,018
持分法による投資損失	-	9,956
和解金	-	4,573
その他	142	5
営業外費用合計	4,387	18,554
経常利益	399,597	429,364
特別利益		
新株予約権戻入益	1,234	21,610
特別利益合計	1,234	21,610
特別損失		
固定資産除却損	-	5,256
特別損失合計	-	5,256
税金等調整前四半期純利益	400,831	445,718
法人税、住民税及び事業税	136,547	160,019
法人税等調整額	17,218	19,456
法人税等合計	153,766	179,476
四半期純利益	247,065	266,242
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,332	11,272
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,732	254,969

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	247,065	266,242
四半期包括利益	247,065	266,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,732	254,969
非支配株主に係る四半期包括利益	31,332	11,272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

当社は、高齢化社会型人材サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

当社は、高齢化社会型人材サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	シニアワーク事業	シニアケア事業	計
顧客との契約から生じる収益	3,131,719	8,858,228	11,989,947

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	シニアワーク事業	シニアケア事業	計
顧客との契約から生じる収益	3,837,184	9,830,120	13,667,305